

たちばな学び館だより

2022年12月号 発行：たちばな学び館・高崎地域生活課

毎月第3日曜日は、「家庭の日」です。

ご家族お揃いで読書はいかがですか？



たちばな学び館所在地

〒889-4592

都城市高崎町大牟田 1150 番地 1

電話とファックス 0986-45-8181

たちばな学び館は、小さな図書館です！

たちばな学び館は、高崎総合支所2階にあります。

土曜日・日曜日は、東側の警備員室前出入口を御利用ください。



【休館日】

毎週月曜日、祝日、12月29日～1月3日、
6月1日～6月15日

宮崎県立図書館・都城市立図書館の蔵書も、たちばな学び館で借りたり返したりできます。

【開館時間】

午前9時30分～午後1時、午後2時～午後5時（午後1時～午後2時は閉館です。）

【館外貸出】

一度に3冊まで、うち新刊1冊（未返却含む）、期間は2週間です。

★★★お知らせ★★★

12月29日から1月3日までは、年末年始の休館です。

今年の開館は12月28日（水）までです。

令和5年は、1月4日（水）から開館します。



新刊案内

・『ぱなしくん』 柴田ケイコ /PHP

遊んだおもちゃに朝ごはん…毎日毎日同じ服だし、髪の毛もグシャグシャなんでも散らかしっぱなし、食べっぱなし、使いっぱなしでやりっぱなし片付けが苦手な男の子『ぱなしくん』

ある日、こわ～いおばけたちがやってきて……

ユーモアいっぱいの片付け絵本♪



・『パンどろぼう おにぎりぼうやのたびだち』 柴田ケイコ /KADOKAWA

おにぎり屋を営むおにぎり一家のおにぎりぼうやは、毎日毎日おにぎりばかりの食卓にうんざり。家を飛び出したその先で、旅人のおじさんから見知らぬ食べ物をすすめられます。

『う・・・うまい』その食べ物とは！！

パンどろぼうが、パンどろぼうになる前の昔のお話♪



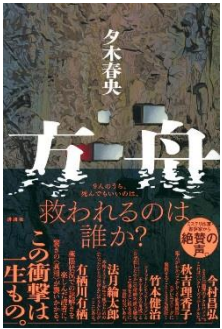
新 刊 案 内

『老人ホテル』 原田 ひ香／光文社

埼玉県の大家族で育った日村天使(エンジェル)は、生活保護を受け自堕落な生活を送ってきた。大家族ファミリーとしてテレビにも出ていたが、16歳で家を出て、大宮のキャバクラ『マヤカシ』に勤める。そこでビルのオーナー綾小路光子と知り合った。数年後、訳あり老人が長逗留する古びたビジネスホテルにひっそりと暮らす光子と再会する。天使は、投資家だという光子の指南で、生きるノウハウを学ぶことになるが……。



『方舟』 夕木 春央／講談社



大学時代の友達と従兄と一緒に山奥の地下建設を訪れた柊一は、偶然出会った三人家族とともに地下建設の中で夜を越すことになった。翌日の明け方、地震が発生し、扉が岩でふさがれた…。さらに地盤に異変が起き、水が流入しはじめた。いずれ地下建設は水没する…そんな矢先に殺人が起こった！だれか一人を犠牲にすれば脱出できる。生贄には、その犯人がなるべきだ。……犯人以外の全員が、そう思った……

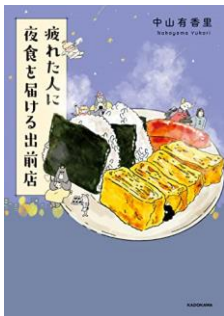
タイムリミットまでおよそ1週間。それまでに、僕らは殺人犯を見つけなければならない。

『ハヤブサ消防団』 池井戸 潤 /集英社

東京での暮らしに見切りをつけ、亡き父の故郷であるハヤブサ地区に移り住んだミステリ作家の三馬太郎。地元の人々の誘いで居酒屋を訪れた太郎は、消防団に勧誘される。迷った末に入団を決意した太郎だったが、やがてのどかな集落でひそかに進行していた事件の存在を知る。連続放火事件に隠された…真実とは…。



『疲れた人に夜食を届ける出前店』 中山 有香里／KADOKAWA



とある町の片隅で、クマがはじめた夜食の出前店。従業員はサケ、ゴリラ、ネコ。物語が進むにつれ、怖そうだけど心優しい魔王、可愛いけど粗暴な天使、引きこもりの吉村、甘いもの好きな部長などが加わって…。いつも頑張っているあなたが、温かいごはんを食べてこの一週間を乗り越えられますように。頑張る人に贈るコミック46のレシピつき♪

他にもたくさんのお本を入荷しています！ぜひご来館ください☆